



光明の学び

6/24 (土) 第1回授業参観 with ガイド

1学期も半ばにさしかかり、最も学習の充実する6月を迎えます。6/24(土)に、第1回全校参観日を設けました。(別途、御案内を配布します。)本学園としての授業参観の形を以下に御説明いたします。

事前に参観ガイドを各家庭に配布します！

何の授業が、どこの教室で、何をねらいとして、どのような工夫をしているか、を分かりやすく1授業を1枚にまとめて、部門・学部毎に冊子した「参観ガイド」を参観日の2日前頃に全家庭に配布します。また、本校病弱部門の方には郵送します。各ページには授業名・指導者名・時間・場所をインデックスとして次のQ&Aで構成します。

Q1：学習するのはどのような学園生たちですか？

Q2：学習のねらいは？

Q3：この授業ではどのような活動を行いますか？

Q4：学習活動や学習環境で工夫していることは？

Q5：教材・教具で工夫していることは？

Q6：教員の関わり方のポイントは？

Q7：参観の見どころは？

小5・6年には中学部参観ガイド、中2・3年には高等部参観ガイドを併せて配布します！

小・中学部各高学年の御家庭には、近づく進級に備え、次のステージの授業についてもイメージを持っていただけるように、中学部または高等部の参観ガイドもお渡しします。限られた時間となりますが、どちらの学部の授業を見て頂いても構いません。

参観時間の設定は、1時間目の後半と2時間目です！

1時間目は、いつものメンバーと教職員のもとで、落ち着いて授業ができるように配慮し、1時間目の後半から参観時間としました。学習グループによっては個別課題の学習に取り組んでいる時間帯です。次の2時間目はフルタイム御覧いただけます。じっくり参観も大歓迎ですし、他の授業を様々見ることも可能です。自由に御参観ください。参観タイム終了後は、グループごとに学習リーダー等から、当日の授業を通しながら、授業計画全般等の御説明の場を設けます。授業をよりよくしていく

ための御意見も頂戴します。(配布する参観アンケート用紙にもぜひ率直なご意見をお寄せください。)

29年度 本校指定の推進事業の御紹介

都教育委員会から以下の3事業の指定を受けました。

- ◆夢・未来プロジェクト実施校(体験教室及び交流推進)
- ◆オリンピック・パラリンピックアワード顕彰校
- ◆平成29年度都立特別支援学校におけるスポーツ教育推進事業：パラリンピアン等の学校派遣(輝け・未来のアスリート)の派遣校

※2020を前に、夢のある教育活動を企画していきます。具体的な内容は次号以降で御紹介いたします。

松原地区青少年健全育成の取組みを本校で展開

本校の所在する世田谷区では地区ごとに地域住民が主体となって「健全育成—我が街の青少年を健やかに育成しよう!」を願って様々な事業を展開しています。

この事業の一環として、来る6/12(月)・13(火)の登校時(8:40~9:00)に、本校で「あいさつ運動」を展開します。松原地区委員を担っているPTA保護者会員の方も登校時にお声掛けしていただきます。この後、9月と1月にも行います。

光明学校学童疎開記念碑が建立されました！

本学園の母体校である「光明特別支援学校」の校名変更前の名称は「光明養護学校」でした。さらに養護学校制度の実施前の名称は「光明学校」でした。

戦前の昭和7年に港区麻布で開校した光明学校は、昭和14年に現在の地に移ってきました。そして戦争が激しくなる中、第三代松本保平校長の渾身の努力があって、現在の長野県千曲市上山田温泉の上山田ホテルに疎開することができました。その10日後には、梅ヶ丘一帯は空襲を受け、校舎も焼失してしまったのです。校舎が復旧されるまでには、多くの時間を要しました。結果として終戦後も長期にわたり疎開先にとどまり、昭和24年になって、建て直した梅ヶ丘校舎に戻ることができたのです。(ちなみに空襲で焼失した都内の小・中学校の中で戦後に復興しなかった学校も少なくありません。)上山田温泉の街の方々が、疎開先で何年にもわたり、児童・生徒、教職員、そして学校教育(現地での教育の継続)を

受け入れ、そして応援して下さったからこそ、今の光明学園が存続できているのです。地域の皆様の御厚情に感謝の思いは尽きません。

この度、疎開先であった上山田ホテルの玄関前に、有志の皆様のお力で「光明学校学童疎開記念碑」が建立され、5/21(日)にその除幕式が行われました。当時疎開を経験した光明学校卒業生、教職員、ホテルの方々、地域の方々、市長さんが駆けつけてくださいました。NHKをはじめ多くの報道陣の取材もありました。私も学校と学園生・教職員・保護者を代表して参列し、感謝の思いをお伝えしてきました。(インターネットで「光明学童疎開 記念碑」と検索してみてください。)

学園生の訃報に接して 一決意を新たに

22日に急逝されたS部門中学部3年の岡本美怜さんの御葬儀が執り行われました。希望をもって本校に入学された学園生を、卒業まで導けなかった無念さを噛み締めています。

私たち教職員は、御本人の状態によっては「次の授業が無い」ということを胸に刻んだ上で、今日からの一つ一つの授業の計画・準備・指導に、悔いのないように全力で当たる決意を新たにしました。謹んで哀悼の意を表します。

校長 田村 康二郎

S (肢体) 部門・B (病弱) 部門 中3生 修学旅行

S (肢体) 部門

S部門は生徒20名引率教職員等を含め総勢約50名で、舞浜、横浜方面へ修学旅行に行ってきました。

1日目、カップヌードルミュージアムでは、味付け、具材を選んだ世界に1つだけの「オリジナルカップヌードル」を作りました。また、カップヌードルを発明した安藤百福さんの歴史も学ぶことができました。2日目は夢の国「ディズニーランド」に行きました。グループに分かれ、事前にグループで決めた乗り物、ショーを体験しました。3日目はオービー横浜に行きました。大自然を映像や音で体験しました。動物になりきれ写真などもあり、目で見て、音で聴いて楽しむことが出来ました。

天候にも恵まれた3日間で、参加者全員がたくさんの思い出を作ることが出来ました。

(S部門修学旅行担当 森井)

B (病弱) 部門

B部門にとって初めての大きな行事は「中3修学旅行～横浜・ディズニーランド～」になりました。

1日目は横浜・山下公園周辺を2時間かけて自由行動しました。赤レンガ倉庫、山下公園、税関博物館、マリインタワーの見学を通して、横浜の開港の歴史を感じることが出来ました。

2日目はディズニーランドへ行ってきました。普段行きなれているディズニーランドもみんなと一緒にいくと、いつもより楽しい思い出になりました。

3日目は横浜中華街へ行ってきました。歴史に触れつつ、食べ歩きやお土産の購入を楽しみました。

中学校生活3年間の集大成となる修学旅行は、大変実りのあるものになりました。今回の修学旅行で学んだことや楽しかった思い出を胸に、これからの高校進学に向けた勉強を頑張っていきます。

(B部門修学旅行担当 羽山)

←カップヌードルミュージアム
 ↓オービー横浜
 ↓東京ディズニーランド



S部門 高等部生徒会選挙

5月12日（金）に生徒会選挙が実施されました。今回は役員および副会長への立候補者が数多く、激戦となりましたが信任投票により全立候補者が当選しました。

まず選挙では光明学園をどのような学校にしていきたいかを基にそれぞれの候補者が公約を考え、発表しました。「光明祭を盛り上げていきたい」、「病弱部門との交流を深めていきたい」、「近隣の高校との交流を広げていきたい」など、熱い思いを披露しました。

そしてそれを後押しするのが各候補者の応援演説です。応援演説もクイズ形式にしたり、応援団風にしたりと趣向を凝らしながらアピールに余念がありません。最後に投票となりましたが、ここで忘れてはいけないのが選挙管理委員の存在です。各学年から1名選挙委員が出て、投票者の名簿管理、投票用紙配布、投票箱管理などを行いました。立候補者もそうでない生徒も、光明学園を良くしていきたい、自分たちの学校のことを自分たちで考えていきたいという思いは一緒です。役員となった生徒たちにはその思いの代表者として頑張ってもらいと思います。 ※ 投票箱や投票台は世田谷区選挙管理委員会からお借りしました。



（S部門高等部生徒会担当 板橋）

B部門 高等部 新聞を活用した

東京都では今年度から都立学校で6つの新聞を購入することになりました。その新聞を活用して、B部門高等部の現代社会の授業では、毎回その日の朝刊を題材に時事問題を考える授業をしています。

今年度は1年と2年に現代社会の授業があります。一般紙の中から、自分が注目する記事を1つ選んで、その記事を簡単に説明し、それに対して自分の意見や感想を発表する、という学習です。今年度の現代社会の一番最初の授業で、新聞の見方や新聞の読み比べについて授業で説明しました。毎回取り組んでいると、だんだん新聞の見方もわかってきて、意見もしっかり言えるようになってきています。寄宿舍にも1紙を置くようになるそうで、「舍でも読みたい。」と話す生徒もいました。

「新聞が読めるようになる」「時事に興味をもつ」等、ねらいはいろいろあります。特に、寄宿舍で生活しているとニュースソースが限られてしまうので、「世の中の動きを意識してほしい」というのが一番のねらいです。このような恵まれた環境があるので、これからも続けていきたいと思います。



（B部門高等部社会科担当 川口）

就学前施設との連絡会

5月18日に就学前施設との懇談会を実施しました。おもにS(肢体)部門の就学に関わりのある施設の職員さんがたくさん出席されました。校内の授業の様子の見学では、小学部だけでなく中学部、高等部の様子にも興味をもたれていました。懇談会では、各施設の様子を報告していただいたり、本校からは入学した後の生活等についての説明を行ったりしました。

また、高等部卒業後の進路についても触れ、小学部のうちから将来を見据えた指導の大切さを、幼いお子さんを預かる施設の方とも共有することができました。就学を控えたお子さんや保護者のためにも、就学前施設に必要な情報をお伝えし、学校との連携を進めていくよい機会となりました。

（特別支援教育コーディネーター 菊池）